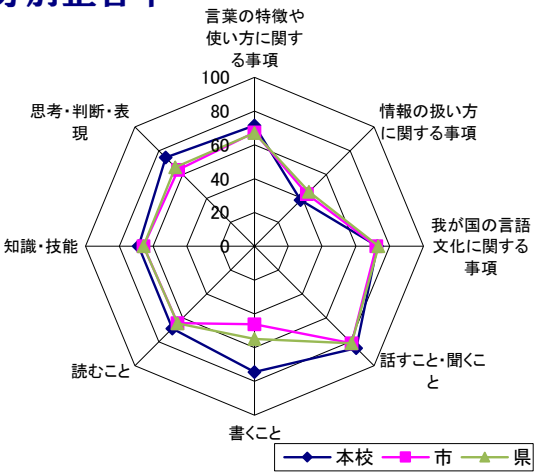


宇都宮市立桜小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	71.5	67.4	67.1
	情報の扱い方にに関する事項	38.6	43.8	45.7
	我が国の言語文化に関する事項	72.7	72.1	73.4
	話すこと・聞くこと	85.2	81.2	81.2
	書くこと	74.4	46.2	54.9
	読むこと	68.8	64.3	64.5
観点	知識・技能	68.6	65.7	65.7
	思考・判断・表現	74.3	64.0	66.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○漢字の読み書きについては、平均を上回った。 ●ローマ字表記の読みについては、課題が見られる。	・漢字の読み書きについては、宿題等で繰り返し練習し、定着を図るよう指導していく。 ・ローマ字表記の読みの力を定着させるために、クロームブックを活用した学習を通してローマ字入力の定着を図る。
情報の扱い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均より低い。 ●国語辞典の使い方の理解では、辞書に掲載されている数種類の意味から選ぶ力が問われ、市の平均より、5ポイント下回った。	・単元の漢字の学習や意味調べなどで、辞書を引くことを習慣化できるよう、意図的・計画的に指導していく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○漢字のへんやつくりを理解しているかを問う問題では、市の平均より、0.6ポイント上回った。	・今後も、新出漢字を学習する際に、へんやつくりを意識して指導することで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることへの理解が深まるよう、学習指導を工夫していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は市の平均より高い。 ○相手に伝わるように自分の考えを、理由を挙げながらまとめる問題では、市の平均より9.6ポイント上回った。 ●話し手が伝えたいことの中心を捉える問題で課題が見られえる。	・大事なことを正確に聞き取ることができるようにするために、メモを取りながら聞くような学習活動を意図的に設定していく。
書くこと	平均正答率は市の平均より高い。 ○段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書くことができていた児童は、68.2%と市の平均より34.1ポイント上回った。	・今後も、日記のような自由に書く文章に加え、条件付きのテーマ作文を実施する。
読むこと	平均正答率は市の平均より高い。 ○叙述を基に段落の内容を捉える問題では、市の平均より、11.2ポイント上回った。	・物語の読み取りでは、登場人物の気持ちや、場面の様子を表す言葉に注目しながら、場面の様子を捉え、読みを深めることができるよう指導していく。